

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2005-500575 (P2005-500575A)
【公表日】 平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-001
【出願番号】 特願 2003-522034 (P2003-522034)
【国際特許分類】

G 1 0 L 11/00 (2006.01)

G 1 0 L 21/02 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 9/00 E

G 1 0 L 9/00 F

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

符号化されたコンテンツ素材にデータを付加する符号化システムであって、前記符号化されたコンテンツ素材は定義された特徴を有し、

前記符号化されたコンテンツ素材の前記定義された特徴に従う符号化されたデータを構成するために、データを符号化するように構成された前処理器と、

前記符号化されたコンテンツ素材の前記定義された特徴に従う結合された符号化された出力を構成するために、前記符号化されたコンテンツ素材と前記符号化されたデータを結合するように構成された結合器とを有する、符号化システム。

【請求項 2】

更に、前記符号化されたコンテンツ素材の前記定義された特徴と一致する入力を処理するように構成された後処理器を有し、

前記結合された符号化された出力は前記後処理器の入力に供給される、請求項 1 に記載の符号化システム。

【請求項 3】

前記後処理器は、ウォーターマーキングシステムを有する、請求項 2 に記載の符号化システム。

【請求項 4】

前記ウォーターマーキングシステムは、前記結合された符号化された出力に基づいて、壊れやすいウォーターマークと強いウォーターマークの少なくとも 1 つを供給するように構成される、請求項 3 に記載の符号化システム。

【請求項 5】

前記データはアナログ雑音信号を含み、

前記前処理器は、前記アナログ雑音信号を受信しそして、それからデジタル符号化として符号化されたデータを生成するように構成される、請求項 1 に記載の符号化システム。

【請求項 6】

前記データはデジタル信号を含み、

前記前処理器は前記デジタル信号を受信するように構成され、そして、：

前記デジタル信号をアナログ信号に変換する変調器と、

デジタル符号化として前記符号化されたデータを構成するために、前記アナログ信号を処理する符号化器とを有する、請求項 1 に記載の符号化システム。

【請求項 7】

前記符号化器は、前記定義された特徴を有する前記符号化されたコンテンツ素材を供給する装置に、実質的に等価である、請求項 6 に記載の符号化システム。

【請求項 8】

符号化されたコンテンツ素材にデータを付加する符号化方法であって、前記符号化されたコンテンツ素材は定義された特徴を有し、

前記符号化されたコンテンツ素材の前記定義された特徴に従う符号化されたデータを構成するために、データを前処理し、

前記符号化されたコンテンツ素材の前記定義された特徴に従う結合された符号化された出力を構成するために、前記符号化されたコンテンツ素材と前記符号化されたデータを結合する、符号化方法。

【請求項 9】

プロセッサに請求項 8 に記載の方法を実行させるように構成された、コンピュータプログラム。